



- 国際ロータリー会長 ステファニー・A・アーチック
- 国際ロータリー 第2660地区ガバナー 大橋 秀典

真実から目をそむけることはできない。助けを求めることは勇気ある行動です。
健康と幸せにいたる道を求めることは、さらに勇気がいることです

例会場 箕面観光ホテル 例会日 毎週木曜日 18:30~
事務局 〒562-0006 大阪府箕面市温泉町 1-1 (箕面観光ホテル内) Tel:072-724-2781 Fax:072-724-1786
Email: mino-orc@abeam.ocn.ne.jp HP: http://mino-orc.net/

NO.2602
2024年8月29日発行

- 本日の例会プログラム
2024年8月29日(木) 第2611回例会
ガバナー補佐訪問、クラブ協議会

会場:箕面観光ホテル

- 次回の例会プログラム
2024年9月5日(木) 第2612回例会
卓話『23-34(にいさんさんよん)のお話』青 敬祐会員

会場:箕面観光ホテル

❖ 前回例会 ❖

出席報告

- ・2024年8月8日(木) 第2610回
会員数 36名 出席者 21名 (出席率 61.76%)

❖ 会長挨拶 ❖

庄司 修二

今日は会員増強フォーラムとなっております。さて2660地区の会員数は5年前の2019年は3,570名ほどでしたが、今年度では3400名程となっており、6年で約170名減少となっております。箕面ロータリークラブの会員数は、私が入会した年は36名で、20年以上経った現在も36名の会員数ということで大きな変化はないのかと思いますが、出席率が大きく違います。2003年の出席率は80%~90%でしたが、昨年度は70%に届かない数字となっております。どうしてこのように出席率が下がってしまったのか理由を考えてみましたが、当時の平均年齢は57歳、現在は56歳とそこに大きな違いはありません。若い方が増えておりますので仕事の忙しさなどがあるのかと思いますが、いつもお願いしておりますが、木曜日の18:30からの例会には出来るだけ出席いただきたいと改めてお願いいたします。また、この2660地区におきまして、会員数20名以下のクラブが13クラブあります。そして、今年度でクラブを終結することが確定しているクラブもありますが、問題はお金ではなく、高齢化で、事業をしてもなかなか進められないといった問題があるようです。またこれからは物価高、人件費高騰で運営的には重荷になってくるのではないかと思います。何とか知恵を使いながら運営をしていきたいと思っております。そして今日はSAA浦会員からもお話がありましたが、例会中にスマホを触るのはなるべくやめていただきたいと思っております。卓話者の顔をしっかりとみて、話をしっかりと聞いて、そのような姿勢で例会を進めていきたいと

考えております。
白坂委員長、今日はフォーラムをよろしくお願いいたします

❖ 幹事報告 ❖

山根 ひとみ

- 8月の例会
29日 ガバナー補佐訪問 クラブ協議会
- 9月の例会
5日 卓話『23-34(にいさんさんよん)のお話』青会員
12日 ガバナー公式訪問
19日 納涼例会 モレロス大学交流会
磯よし(箕面市役所店)
- 26日 卓話 サントリーサンパーズ 吉田様

・「国立健康・栄養研究所」特別見学会のお知らせ
国立健康・栄養研究所にて研究者による健康長寿に関する講演と施設見学
詳しくは事務局からLINEに送信

・関西万博の開幕日入場チケット申し込み延長について
当初のご案内では7月末が申込・ご入金期限でしたが、
9月20日まで申込期限を延長
詳しくは事務局まで

・第2660地区 新クラブ設立のお知らせ
2024.7.22付 国際ロータリー加盟
大阪上方ロータリークラブ

4つのテスト 言行はこれに照らしてから

01 真実かどうか

02 みんなに公平か

03 好意と友情を深めるか

04 みんなのためになるかどうか

❖ SAA報告 ❖

SAA 浦 収

ニコニコ

前田建司会員：白坂委員長フォーラム宜しく願いいたします
 庄司修二会員：フォーラムよろしく願います
 河野優作会員、木村知也会員、黄堂泰昌会員、西田泰会員
 西脇悟会員、小倉常敬会員、尾崎夏樹会員、白坂昌子会員
 上田紘史会員、山本貴雄会員、山根ひとみ会員

米山奨学会

上島一彦会員：白坂さん、会員増強頑張りましょう！
 片山秀樹会員、河野優作会員、黄堂泰昌会員、前田建司会員
 西田泰会員、西脇悟会員、小倉常敬会員、庄司修二会員
 山本貴雄会員、山根ひとみ会員

ロータリー財団

林たかみ会員、河野優作会員、木村知也会員、黄堂泰昌会員
 西田泰会員、西脇悟会員、白坂昌子会員、庄司修二会員
 上島一彦会員、上田紘史会員、浦収会員、山本貴雄会員
 山根ひとみ会員

ポリオ

木村知也会員、西田泰会員、小倉常敬会員、白坂昌子会員
 庄司修二会員、山根ひとみ会員

恒久基金

西田泰会員、庄司修二会員、山根ひとみ会員

❖ 会員増強フォーラム ❖

会員増強選考委員長 白坂 昌子



本日の会員増強フォーラムの目的は、会員を増やしてクラブをもっと活気のある場所にしていこうとします。本日の内容で色々な感想をお持ちになられると思います。まだまだロータリーでの経験が浅く、知識も少ないのですが、自分なりにまとめてみましたのでよろしくお願いします。

今年度の 2660 地区活動方針(大阪東 RC 樋口武英委員長) ①会員増強の新しい視点は大学にあり②小クラブ活性化の提言、となっておりますので、このことを踏まえながら箕面 RC の会員増強について考えていきます。

【本日のタイムスケジュール】

- ①自己紹介
- ②現状と他の組織の会員増強の案と比較
- ③グループワーク 会員同士
カード一人1分×4人 8分～10分
- ④各グループの共有発表 10分

☆ロータリーの入会理由 ※クラブ活性化セミナーより
 ・地域社会での奉仕活動の参加

- ・社会的、職業的な繋がり
- ・個人の成長と学習の機会
- ・ローターアクターや若い世代は奉仕活動への意欲が高い

☆ロータリーの退会理由

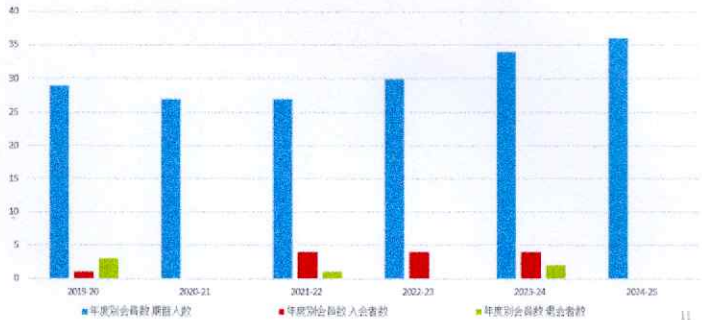
- ・クラブの環境、文化
- ・入会前のクラブへの期待との相違
- ・(若い世代)時間や経済的負担

☆箕面ロータリーの会員数の推移

会員数の推移から、コロナ禍に会員が増えていることがわかる。コロナ禍は孤独になりやすい背景から、人が集まるところに需要があったのかと推察。また、箕面ロータリーは人数的には小クラブとなるが、会員数は右肩上がりであり会員増強は成功しているクラブといえる。箕面 RC の平均年齢は 56.9 歳で 50 代が 11 名、最少年齢は 34 歳となっているので、活動の活性化は期待できるクラブなのではないか。

箕面ロータリーの会員数

年度	年度別会員数			入会者名	退会者年齢
	期首人数	入会者数	退会者数		
2019-20	29	1	3	高橋会員	46歳、70歳、76歳
2020-21	27	0	0		
2021-22	27	4	1	山根会員、西田会員、森田会員、道村会員	78歳
2022-23	30	4	0	可知会員、山下会員、今野会員、白坂会員	
2023-24	34	4	2	飛多会員、上田会員、小倉会員、山口会員	93歳(逝去)、49歳
2024-25	36				



会員増強についてのクラブの現状・課題

- ・この3年で12名入会し、退会者は3名(49、8、93 歳)
- ・ロータリーに入会しても例会に参加出来ていない人もいる
- ・理由は仕事?で時間がとれない
- ・ロータリーの認知度は若い世代にはあまりない
- ・何をしているのかよく解らない
- ・奉仕活動をしたくても自分の仕事で余裕がない

会員増強についての行動・理想

- ・自分の開催する研修や繋がりのある大学にボランティア活動があるのか確認し、アプローチしてみる
- ・箕面市で事業をされている方や、箕面市在住の経営者、個人で奉仕活動をされている方にロータリーについての活動チラシを配布してみる
- ・職業、性別に関係なく助け合いと学びがある
- ・ロータリーに入会してよかったと心から思える

☑ 4つのテスト 言行はこれに照らしてから

- 01 真実かどうか
- 02 みんなに公平か
- 03 好意と友情を深めるか
- 04 みんなのためになるかどうか

☆箕面 RC を外部にアピールすることが必要

- ・単に社会貢献だけではなく、ロータリーに参加すると自分の事業だけでなく多職種のことが理解できる
- ・広く交友関係を築くことができる
- ・ロータリーの活動に参加する事によって、学生との交流も増え、今後の人材確保にもつながる
- ・ロータリーの例会は楽しく知らないことが知れる場所というようなことを説明できれば、クラブの魅力が増すのではないかと考える。

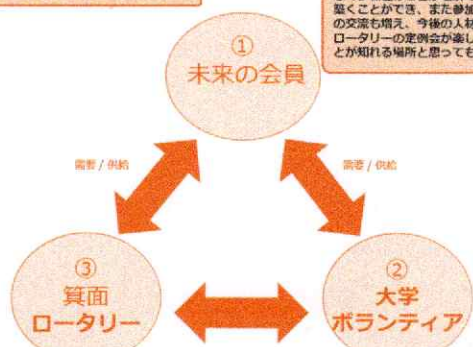
☆会員増強のためのアクションについて

※私個人の考えです

箕面ロータリーのアクション

情緒価値未来価値を伝える

ロータリーに参加すると、自分の事業だけではなく多職種のことが理解でき、広く交友関係を築くことができ、また参加することで、学生との交流も増え、今後の人材確保にもつながる。ロータリーの定期会が楽しいこと、知らないことが知れる場所と思ってもらえる例会を企画。



- ①ロータリーの仲間づくり
- ②ロータリーファンを作る

大阪大学、大阪青山大学の学生さんにロータリーの楽しさを、活動に参加してもらえないか声掛けをしてみる。また、共同で何かできないか、などボランティア活動を共有してみる。学生の周りことだけでなく、学生の時から地域社会とつながりを持つメリット

- ①会員増強チームは全会員です。
- ②近隣大学につながりを作る。



- ③定期的に(1年に2回等)例会等で交流。
例えば、医療チームで、上田会員の歯科(食べる)と白坂の看護の排せつ(出す)は、赤ちゃんから高齢まで生きるうえで大切なことです。小倉会員にお腹のしくみ、解剖など含めヘルスセミナーとして学生と開催する等。
- ④全会員のプレゼンを企画して頂き、会員の方の事業を理解し会員同士から輪をつなげていく。(お互いの仕事の内容知らずして輪をつなぐことは難しい)



- ⑤オンラインでの例会開催の週を作ることで、参加出来ない会員にも出席しやすい環境を作る。

☆グループワーク

ここからはグループで皆様の考える会員増強のアクションプランを話し合ってください。



☆グループ発表

【グループ A】

- ・職業分類に知人の名前を入れて表をつくり、表をもとにして声掛けをする
- ・まずは会員の退会防止策を考える
- ・ゲストを招待しやすい環境をつくる
- ・箕面 RC のチラシを作成し配布する
- ・他団体との交流(横のつながりをつくる)

グループB

- ・子育て世代、ママさん会員などを含め、女性会員を増やす
- ・ロータリーの活動に子供を連れて参加できる環境づくり(現状では長時間は難しい)
- ・ロータリーは世間を先導する団体でありたい

グループC

- ・参加したくなるような魅力ある例会づくりをすることで退会者も減るのではないかと
- ・ゲストにはRCに興味をもって楽しんでもらえる例会にする
- ・好きな場所は例会と言えるようにする
- ・RCをよく知っている団体(青年会議所等)の人脈を大切に
- ・学生への知名度を上げるために、地域での活動、ボランティア活動などで連携していく

グループD

- ・閉鎖的な居心地の良さと、開かれた部分をうまくミックスさせていく
- ・入会対象のゲストには複数回のゲストデーに招待し、最後クロージングまでしっかりする方法を継続したい
- ・市民との交流を定期的にもつことで RC への理解が深まる
- ・応援サポーターを増やしていく
- ・地域の活動に参加する事で、応援サポーターを増やせる

グループ E

- ・RC の活動目的、意義などがわかりにくい
- ・RC のイメージがつきやすい行動を起こす

☑ 4つのテスト 言行はこれに照らしてから

- 01 真実かどうか
- 02 みんなに公平か
- 03 好意と友情を深めるか
- 04 みんなのためになるかどうか